

タイトル：認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（宮城）

日程：2019年7月27日（土）・28日（日）

会場：独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター

<https://nsmc.hosp.go.jp/>

（宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目11番12号）

内容：認知神経リハビリテーションの基礎

「脳とりハビリテーション」「認知神経リハビリテーションの実際」

詳しいプログラムは添付PDFをご確認ください

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

定員：60名（定員に達し次第締め切り、先着順）

講師：園田義顕（高知医療学院）金森宏（みなみ野病院）

三上恭平（登戸内科・脳神経クリニック）

申込方法：

「認知神経リハビリテーション学会ベーシックコース（宮城）募集受付フォーム」

HP(<https://jsncr.jp/>)よりお申込み下さい。

問合せ先：高知医療学院 八坂一彦

E-mail：yasaka@kochi-iryogakuin.com

問い合わせは必ずメールにてお願い致します。

件名を「宮城ベーシックコースについて」として下さい。

主催：一般社団法人認知神経リハビリテーション学会

2019年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（宮城）

1日目

[脳とリハビリテーション]

09:20- 認知の樹（映像）

09:30-10:30 講義1) 行為と認知の神経科学（三上恭平）

- ① 脳の知覚運動制御メカニズム
- ② 運動の意図・予測・イメージ
- ③ 運動学習、身体意識、多感覚統合

10:40-11:40 講義2) 片麻痺の病態と機能回復の神経学（金森宏）

- ① 痙性麻痺と錐体路
- ② 機能解離と半球間抑制
- ③ 片麻痺の機能回復と神経可塑性

[認知神経リハビリテーション入門]

11:50-12:50 講義3) 認知神経理論（園田義顕）

- ① 身体と環境の相互作用
- ② 認知過程からみた回復と学習
- ③ 発達と物理的・心理的道具

昼休み

13:50-14:50 講義4) 行為の機能システムと情報メカニズム(菅原紘子)

- ① 身体を情報の受容表面と捉える
- ② 行為・機能・情報のヒエラルキー
- ③ 機能回復のための情報の構築

15:00-16:30 演習1) 病態分析と病態解釈（三上純・全講師）

- ① 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
- ② 外部観察・・・姿勢と動作の特徴（自発的・規定動作）、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
- ③ 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

16:40-18:10 演習2) 認知問題と訓練の組織化（金森宏・全講師）

- ① 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ 認知問題
- ② 空間問題と接触問題
- ③ テーマ(身体部位)、内容・方法・検証

2日目

[認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-12:20 演習3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

- ① 行為システムと訓練器具の関係
- ② 難易度の調整
- ③ 基本的手続きと実技

[Ⅰ] 上肢の機能システムと訓練の実際 (三上恭平・全講師)

[Ⅱ] 体幹の機能システムと訓練の実際 (金森宏・全講師)

[Ⅲ] 下肢の機能システムと訓練の実際 (菅原紘子・全講師)

昼休み

[脳のなかの訓練室]

13:10-14:00 講義5) 失行症の病態解釈と回復の探求 (三上恭平)

- ① 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
- ② 失行症の病態 (肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
- ③ 失行症の治療 (動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具使用)

14:05-14:55 講義6) 半側空間無視の病態解釈と回復の探求 (菅原紘子)

- ① 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
- ② 半側空間無視の病態 (注意障害、身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
- ③ 半側空間無視の治療 (身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

15:00-15:50 講義7) 神経変性疾患の病態解釈と回復の探求 (三上純)

- ① 脳のシステム障害としてみた小脳障害と大脳基底核障害
- ② 陽性症候と陰性症候に大別した介入方略の方向性の相違
- ③ 神経変性疾患に対する病態推定と治療仮説

[身体化された認知]

15:50-16:20 講義8) 身体化された認知 (embodied cognition) の回復を目指して (園田義顕)

- ① リハビリテーション身体論 ～フッサル、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ…
- ② 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス ヘルリア、サックス、ペルフェッティ…
- ③ 行為の記憶と想起された現在 ～認知運動療法から行為間比較への旅…

16:20- 認知の樹(映像)

終了